

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科教授会記録

日 時 令和2年5月7日（木）午後4時00分～午後4時25分
場 所 各校講義室にて遠隔講義システム及びZoomにより開催
出席者 （大阪校）佐藤研究科長、片山副研究科長、谷池研究科長補佐、池田教授、大藁教授、
金澤教授、酒井教授
（金沢校）横山副研究科長、菊知教授、小林教授、堀教授
（浜松校）土屋副研究科長、尾内教授、高貝教授、武井教授
（千葉校）平野副研究科長、清水教授、中川教授
（福井校）松崎副研究科長、安倍教授、小坂教授 友田教授

計 22名

欠席者 （大阪校）橋本教授
（金沢校）柴教授
（浜松校）山末教授
（福井校）大嶋教授

計 4名
[合計 26名]

議 事

◇ 議事に先立ち、研究科長から、4月2日（木）開催の教授会記録の確認があった。

【 報告事項 】

1. 副研究科長等会議報告について
研究科長から、配付資料に基づき、報告があった。
2. 教務担当者会議（持ち回り）報告について
研究科長から、配付資料に基づき、報告があった。
3. 遠隔講義システム担当者会議報告について
平野教授から、配付資料に基づき、報告があった。
4. 世界自閉症啓発デーの取り組みについて
研究科長から、配付資料に基づき、報告があった。

【 協議事項 】

1. 学位の英語名称（略称）について
研究科長から、継続課題となっていた学位の英語名称（略称）について、副研究科長等会議において、「DChildDev」及び「DrCD」の2案に絞り、この2案について、各校での意見集約を依頼した旨説明の後、各校から意見集約結果について報告があり、協議の結果、「DrCD」とすることとした。
また、最後にピリオドを付けるかどうかについては自由度を持たせることとした。
2. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する今後の授業（演習、発表会を含む）の在り方について
研究科長から、研究（計画・進捗）発表会の延期時期及び実施方法等の検討について、今後の状況によっては、至急の検討が必要であることから、教務担当者会議に一任いただきたい旨説明があり、協議の結果、承認された。

3. 学位論文の本審査について

研究科長から、配付資料に基づき、「猪原裕子」及び「佐川陽子」の学位論文について説明があり、投票の結果、合格とした。

以上